

# 五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3  
TEL.426-3600 FAX.424-1474



「新和歌の浦  
高津子山から和歌山城方面をのぞむ。」

## 目次

支部長挨拶 .....	2	地球を造る究極の物質 .....	6
和歌山税務署長着任のご挨拶 .....	3	支部行事風景 .....	6
学徒時代を振り返ってみる .....	4	新執行部紹介 .....	7
「いい年」とは .....	4	新入会員等紹介 .....	8
近畿税理士会和歌山支部のホームページへようこそ...	5		

## ごあいさつ

和歌山支部長

米 田 弘



残暑まだまだ厳しい折から、支部会員先生方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、支部の会務運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

21世紀初の支部総会におきまして、支部長に選任され、新米ですが経験豊かな副支部長さんや行動力のある幹事の皆さんに支えられ、その職務を遂行して2年の任期を全うしたいと思っております。

小泉旋風に吹かれて、悲喜こもごもの参議院通常選挙も与党の安定多数の結果に終わり、この不景気風の吹き飛ばしがどのように動くのか、今後の期待がかかります。

さて、自由化と規制緩和の流れの中、わが税理士業界にとっては非常に大きな影響があると考えられます税理士法の改正が21年ぶりに行われ、本年6月1日公布、平成14年4月1日施行という運びとなったことは、会員先生方には先刻ご承知のことと存じます。

これに伴う政令・省令が8月中に出されることが予定され、これにより、法改正に伴う日税連会則、本会会則、支部規約等の変更も順次行われることと予想されますが、今度の税理士法改正は、大きく分けて3つになると考えられています。

その第1は、税理士法人制度の創設、次に資格制度の整備、3つめは補佐人制度の創設とされています。

その中で特に税理士法人制度の創設は、寡占化の問題を含め、我々、地方で税理士業を営むものにとっては、図り知れない影響があると言われ、危機感をもって対処しなければと考えている会員先生方もおられるやに聞いております。

政・省令が出揃いますと、これに基づく日税連会則の変更、11月頃に予定されます近畿税理士会会則の変更のための臨時総会、また、それにより我が和歌山支部も、12月上旬に支部臨時総会を開催してこれに対応しなければ、平成14年4月1日の法施行に間に合わないという事になってしまいます。今後とも支部会員先生の一層のご協力をお願いする次第であります。

最後になりましたが、会員先生方の益々のご健勝とご事業の繁栄を心からお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



## 着任のご挨拶

和歌山税務署長

沢村 暁



例年になく厳しい残暑が続いておりますが、近畿税理士会和歌山支部の諸先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近畿税理士会和歌山支部並びに会員の皆様方には、平素から税務行政につきまして、深いご理解と格別のご協力を賜り、紙面をお借りいたしまして、心より厚くお礼申し上げます。

私は、この度の人事異動によりまして和歌山税務署長を拝命し、過日着任いたしました。

和歌山税務署の勤務は、初めてでございますが、当地は古来より多くの歌人に詠われた和歌の浦をはじめ、虎伏城の異名をもつ和歌山城など、歴史と伝統に培われた人情味豊かなご当地で勤務できることを、大変光栄に思っております。

ところで、昨今の税務を取り巻く環境は、国際化、情報化、IT化の進展等、経済構造の急激な変化に伴って大きく変わりつつあります。

これまでも、情報化に対応して納税者の利便性を図っていくためインターネット上でのタックスアンサーの利用、帳簿書類の電子データによる保存制度の導入などが行われており、さらに進んで、納税申告を、現在の書面の提出による方法に加え、電子データの形で送信する電子申告制度の積極的な推進も行われております。

また、確定申告関係では、所得税の確定申告書の様式が、約40年ぶりに見直しされ、平成13年分から新様式になります。

こうした状況の中で、税に携わる私どもといたしましては、「適正・公平な課税の実現」と「期限内収納の確保」という私どもに課せられた使命の達成を図るため、経済情勢に即応した署務運営に配意するとともに、二十一世紀に入りまして、新しい目で、物事を見つめ、状況を的確に捉えながら国民の期待を念頭に置いて、納税者の皆様方から信頼される税務行政の確立に努めなければならないと考えております。

しかしながら、これらのことを実現するためには、私どもの力だけでは微々たるものであり、税の専門家として豊かな経験と高い見識をお持ちの税理士先生方のご理解と積極的なご協力が是非とも必要であります。

近畿税理士会和歌山支部におかれましては、常々税務行政に深いご理解をもたれ、税知識の普及とともに納税道義の高揚等に積極的に取り組んでいただいていることは、誠に心強く、そのご努力に対し深く敬意を表する次第であります。

今後とも、貴支部との連携を密にし、諸先生方のご意見を十分に受け賜りながら、税務行政の円滑な運営と執行に努めて参りたいと思っておりますので、なお一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿税理士会和歌山支部の益々のご発展と会員の諸先生方のご事業の益々の御繁栄と、ご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、着任の挨拶といたします。

## 学徒時代を振り返ってみる

福井 眞八

「夏草や強者共が夢の跡」この芭蕉の句のように人生は結果から言えばこんなものと思う。特に私は二十歳で敗戦、正反対な社会情勢に生きたから、余計に無駄が多かった。

現在の大学生の生活、勉強の様子を傍観するに、半分は遊興しているようで学校生活は気楽に過ごしている。私の場合、親が無理して高等教育を受けさせようとするが、私は今一つ出来が良くなかった。当時でも国立校へ合格すれば学費は少なく、卒業後も学歴に箔が付いて生涯有利に送れる世の中だった。

それが成績が及ばぬ上に不運もあって、一浪と同じ状態で期待しなかった学校にしか合格出来なかった。朝五時起きして通学する。親としては辛かっただろうと回想する。

朝六時発の電車で一両目に乗り、終着駅に到着と同時に駆け足で乗り継ぐ神風通学で、やっと遅刻せずに済む。学校の授業は経済、商業、法律、文学といった科目は書き写す事が主体で二時間ブツ通して大学ノート五、六枚、みみずのように早く速記するのに忙しく当時は万年筆が主体で英語のようにノートの下に半分程の細かい字でなぐり書きするから自分だけが読める字に精一杯、それが定時試験に相当な量になり合格点に達する勉強は大変だった。また英語、中国語も進捗が早く、英字新聞数日分の内容の試験に及第するに徹夜をした事もある。毎日の勉強、通学に追われて、南海電車で通学一時間余り居眠りするのが一番気が抜ける時であった。私は勉強好きでなく、抽象的な論文と文法を主軸にした語学に振り廻されて私立も国立も内容は大きい差は無いらしく、高等教育とは、こんなに面白くない学問を詰め込まねばならぬとは想像もしなかった。

戦争の急迫、軍需工場へ出向、果ては学徒出陣となったが、学業放棄の方が気楽であったとも考える。英語の複雑な文を和訳する授業より旋盤を廻している作業の方が、はるかに気分的に救われた。大学教授は高度な理論的な学問を分析して授業を進めるが、すべて抽象的な事ばかりで、経済という言葉自

体漠然としているから、根本的な社会現象を考察するために必要だが、知らなくとも恥をかく問題でも無い事ばかりであった。また英語にしても英文法を中心にした語学であったから、英会話即ち英語の会話で話の出来る教育とは「読書」と「話し合える」違いがあり根本的な差違があると思われる。

旧制の大学を高成績で卒業していても、戦後の社会の変遷には役立たなかつただろうと思われる。私が戦後、食わんが為に混乱の中で俗社会に就職して、学徒で通学しているよりは、はるかに楽で無理に記憶して詰め込まねばならぬ事は無く、徹夜の試験も無い。平易な事ばかりの繰返しで給料を貰えるから「リンゴの唄」が流行した当時は開放されたような気持ちであった。平和なそんな生活も長く続かなかつた。五年後倒産の危機から国家公務員受験の必要に迫られた。その時はかつての大学入試の受験勉強が大いに役立った。勉強の方法はいつれも同じ、大して特訓でも無かつたが、戦後社会が変わつたせいかな問題は予想外に容易で公務員に採用された。通学していた頃は無駄な受験勉強に骨身を削つたものと諦めていたが、人生は思わぬ処で役立つ事になった。重要な事は、目先にのみ捉われず、基礎的な学問知識を身に付ける、無駄もいつかは役立つものである。

学徒の頃、希望通り有名校に合格、我が世の春とばかり青春時代、人生を謳歌していた同級生、私にとって羨ましく思っていた連中は、その殆どが定年退職後、年金生活者か、又は冥途へ旅立った者である。現役で残つた私も既に老令、昔の受験戦争に鎬を削つた事も空しい記憶に留まるばかり。私は紆余曲折を経て残存しているが、只脇役の生涯を貫き度いと思う。

## 「いい年」とは

岡田将生

日常会話でよく耳にする言葉に「いい年をして」という表現がある。「いい年をしてあんな派手な服装をして」とか「いい年をして今更やめなさいヨ」など人を非難攻撃するときによく使われる言葉であ

る。聞かされた方は強烈なパンチを受け、ガックと気落することだってある。世間には相手にショックを与えて楽しんでいるいじわる婆さんの的な人も多く存在するが兎角日本人は島国育ちの故か世間の目を気にしながら生きる傾向が見受けられる。そのことが老人の世界を狭くしている原因かも知れない。

ここは一番、開き直ってこの表現を逆手にとって生きることを考えてみてはどうだろうか。「この年になってまだこんな服装ができるなんてほんとうにいい年だと思いますヨ」とか「今頃こんなことが楽しめるなんてつくづくいい年になったと思うヨ」と言い返したら相手も「いやほんとうにいいお年ですネ」とお世辞を言わざるを得なくなるのではないだろうか。年を重ねて老人になることは「いい年」を生きることだと思う。

そうありがたい願望から次の名句を「一日一読」し毎日を生きている昨今である。

1. お金に権力に慾をはるのは浅ましいが、一生懸命生きることに慾ばる心はもちたいものだ。
2. 人の悪口を言うよりも、その人の好い点を見つけてより高い評価をした方がすがすがしい気持ちとするものだ。
3. 友達を大切にしたい。自分の人生は友達による。力づけられ強く生きてこられた人との出逢いのありがたさを忘れないように。
4. 読書は知識を増す。人生観を左右する読書の楽しみを持つ人は幸せである。
5. 無理に若々しく振舞ったり、あせったりするのは老化を意識する始まりである。
6. 年を重ねる程ボランティアの大切さがわかる。人のために役に立っていることを感じる時その日々は豊かな心で輝く。
7. 手のシワに引け目を感じないこと。このシワの一つ一つに自分の尊い人生経験がたたきこまれているのだ。
8. 人の目を気にしすぎると自分の世界を狭くする。落ち込む気持は誰でも経験するもの、それを乗り越える力こそその人の人生の宝物である。
9. 失敗を恐れてはいけない。それを乗り越えてゆくことに前進がある。成長がある。その人を強

くする。

10. 感動を失わぬように。感動する心を持つことは生きる喜びであり輝かしい日々の努力を更に強くする。

## 近畿税理士会和歌山支部のホームページへようこそ

<http://www2.kinzei.or.jp/~wakayama>

業務担当 **山中盛義**

和歌山支部のホームページを立ち上げてから早いもので1年が経過しました。

近税会の本部より各支部毎にホームページを作成するようにとの指示により、和歌山県では海南支部、粉河支部に続き、業務委員会にてホームページの作成に取りかかりました。限りある予算で内容の検討を重ね、他支部のホームページを参考にしつつ、現在の形式に落ち着きました。まず、一般のコーナーでは、和歌山支部及び役員の紹介、年間行事（昨年度の実績）の案内、支部会員名簿の後、支部会員のページに入ると（一応IDコード及びパスワードが必要です）、役員会報告、今月の予定、機関紙（この五十五万石）のバックナンバー、掲示板の構成となっています。

この中で、役員会報告、今月の予定は毎月更新し、名簿は異動の都度更新し、機関紙は発行の都度、追加掲載をしています。一般向けとしては、「年間行事の案内」を充実しなければいけません、年一回の更新で、情報としては物足りないかなという状況です。

会員相互の意見交換の場として掲示板を設けましたが、掲示板は今のところ1件も使用されておらず、宣伝が足りなかったようで反省しております。また、基本的な構成は変更していないため、再度のアクセスについては少ない状況かと思っております。

今後、支部のホームページの内容を充実し、支部会員のお役に立てる情報を提供するためにどのような内容にすべきか、検討してまいりたいと思いますので、研修会の開催を含め、是非皆様方のご意見をお寄せいただきたくよろしくお願ひいたします。

なお、ご意見はどんなことについてでも結構ですので、Fax、電子メール等で事務局までお寄せください。

# 地球を造る 究極の物質

岡本 繁 男



私達が住む地球を造っている究極の物質は何であるかと言えば私は電気であると考えている。物質は原子（陽子、中性子、電子から成る）から出来ていることは分かっている。その原子は電気で出来ている。

惑星には地球を含む地球型5個と気体の木星

型5個がある。電気には直流と交流がある。地球型は交流の電気、木星型は直流の電気で作られている。交流は円型で直流は半径型である。

交流の地球は固体で原子であり、直流の天王星と海王星は気体で分子である。これは半径の大きさに現れている。地球の赤道半径は6,378km、火星の赤道半径は3,397kmで大きく違っている。天王星の赤道半径は25,400km、海王星の赤道半径は25,110kmでよく似ている。

電気は+電気と-電気が均衡して静電気となり物質と成る。

## 支部行事風景



平成12年分確定申告地区納税相談検討会/H13.1.26



税理士記念日/H13.2.23



第21回支部定期総会 議長 岡田泰介/H13.5.18



第21回支部定期総会懇親会/H13.5.18



資産税研究会/H13.6.29

# 新 執 行 部 紹 介



支部監事 木村健而



支部長 米田 弘



支部監事 岡野良平



総務委員会（服部・岡田・山西）



業務対策委員会（大西・山中・大住・森脇）



広報・綱紀監察委員会(竹田・山本・九鬼・成川)



厚生委員会（梅本・松本・後安・木村）



税務指導対策委員会(西田・石倉・速水・石川・宮田)

### 新入会員等紹介 (敬称略)

#### 入 会



テラモト サトル  
寺本 悟  
平成13年1月25日  
和歌山市駕町40  
本田壽秀事務所内



コニシ リエ  
小西 里枝  
平成13年2月22日  
和歌山市紀三井寺740-10  
小川九十男事務所内



ユカワ ナオキ  
湯川 直樹  
平成13年3月22日  
和歌山市教寄屋丁2-1  
湯川龍平事務所内



ヤマダ ケン  
山田 賢  
平成13年6月26日  
和歌山市中之島2269



オクノ ヒロシ  
奥野 浩  
平成13年8月27日  
和歌山市新在家145-3  
奥野浩一事務所内



チバ アキラ  
千葉 昭  
平成13年8月27日  
和歌山市府中92-16



オオモリ フミオ  
大森 文男  
平成13年8月27日  
和歌山市土佐町3-53-1

#### 転 出

小仲 功 (御坊支部) 平成12年12月19日  
旭 輝明 (旭支部) 平成13年2月28日

#### 退 会

藤木 重男 (廃業) 平成12年12月31日  
岸本 九 (死亡) 平成13年1月16日  
宮野 繁一 (死亡) 平成13年3月9日  
熊城 和雄 (廃業) 平成13年4月3日  
野尻 啓市 (死亡) 平成13年7月4日  
坂田 宣雄 (死亡) 平成13年7月15日  
安田 一男 (死亡) 平成13年7月23日

### ◆◆◆◆◆ 編 集 後 記 ◆◆◆◆◆

支部の新執行部が発足して早3ヶ月余りが経ちました。

本年5月には、約20年ぶりに税理士法の一部が改正され、税理士法人制度の創設をはじめとして、規制緩和、自由化の要請と納税者の利便性等の見地からの諸般の改正と云われており、これからの税理士像が大きく変貌するのではなからうかと思えます。

小泉首相も、聖域なき構造改革の方針を強く打ち出し、「改革なくして成長なし」・「改革に

は痛みが伴う」とも言っています。

このような新しい時代にふさわしい税理士業界の発展のために、会員相互が力を携えて行きたいものです。

「五十五万石」第12号は、新米委員が初めての編集でした。今後とも発刊に向けてのご協力をお願い申し上げます。

広報委員 山本 九鬼 竹田